

選手動向

2021年最初のSGに向け、各車臨戦態勢整った

【浜松勢】

1月飯塚G1優勝戦で痛恨のフライングとなった**鈴木圭一郎**。今節スタートを攻められないことが大会5連覇に向け最大の障壁となることは間違いなく、追う展開からさばき切るエンジンに仕上げる整備が必須となる。地元正月開催では最後までフロントのドドド(跳ね)に悩まされており、足回りの安定化も課題だ。

一昨年からの車好調がまだ続くのは**伊藤信夫**。昨年8月の伊勢崎・オートレースグランプリで実に13年ぶりとなるSG制覇を遂げて以降も高勝率をキープ。近況は苦手としていた湿走路での3連対率も急上昇中。直近の地元普通開催でも3日間完全Vを遂げており、展開不安の鈴木圭に代わって地元中心の存在となる可能性も。

車一息の状況続きながらもグレードレースでの優出率高いのは**金子大輔**。乗り手はいまや充実の一途で、理想の動きを求めてパーツ交換を含めた整備が続く。**佐藤摩弥**は1月・伊勢崎G1での落車後、エンジンは状態維持も、足回りの跳ねと、得意のスタートにやや精彩を欠くのが気掛かりだ。

直近地元戦を含め、この年明けの動き下降目立つ**木村武之**は、2/10からの伊勢崎G2に向け再度のクランク交換を予定。動きの推移を見守りたい。

同じく近況エンジン状態一息だった**中村友和**だが、直近地元戦では上昇ムード。その師匠・

青島正樹はエンジン・スタートとも安定した動きを示し、好タイヤの確保がテーマか。

A級では、昨年末以来完全復調の動き続く**鈴木宏和**が台風の目となりそうだが、スタートの切れははまだ日替わり感あり、連日コメント等でチェックしたい。冷える走路で追い足上位となる**岩科鮮太**も、近況は粋なりのスタートを決めてくることも多く、連日穴党ファンの視線を集めそうだ。

【川口勢】

直近地元開催で1年4ヶ月ぶりの優勝を飾った**中村雅人**に注目。スーパーハンデ・青山周平の10M前からとはいえ、スタートから抜け出しまでの動きは鋭く、車仕上げは上々とみる。

以前の浜松走路との相性悪さはかなり払拭した感のある**佐藤摩弥**だが、近況は車自体が伸び悩み気味。スタートの出も一息で勝ち切れないレースが多く、エンジンの底上げが急務となる。

永井大介は、1月飯塚G1での大整備が功を奏し、準決勝の雨で優出は逃したものの、節間で1着3本。試走タイムも上限まで出ており、まずはいい状態での浜松入りとなりそう。

ほかS級では、昨年当地優勝歴ある**山田達也**、飯塚G1準優勝の**平田雅崇**らにも目が向くが、注目はむしろA級勢。近況スタート一発決めるシーンが目立ってきた**小林瑞季**、フライング持

ちで控えていたスタートが徐々に普通に切れるようになってきている**加賀谷建明**、そしてベテランイン巧者・**五十嵐一夫**も、近況はエンジン力安定のうえ、スタート先行から展開優位に勝ち切る場面も増えており、注意が必要。

【伊勢崎勢】

今や孤高のS1となった**青山周平**に死角なし。普通開催ではもはやスーパーハンデが当たり前となり、今回もハンデにかかわらず、その攻撃力を思う存分発揮しよう。どの位置からでも飛び出して行けるスタート力は展開的にも絶対優位。以前は課題とされたさばきも堂々のS1級に成長を遂げている昨今。今回も本命党ファンの期待を背負って、押しも押されぬ優勝候補筆頭に。

絶対王者・**高橋貢**も直近好調。飯塚G1でのフレーム交換で乗りづらさが解消されて以降は試走タイム・レース足とも高位安定の動きが続く。当地は相性も良く、昨年11月のG1秋のスピード王では優勝戦で最後鈴木圭一郎にチョイ差しの逆転許す惜敗の準優勝。3ヶ月前のリベンジに王者が燃える。

浜松相性といえば、**早川清太郎**には依然不安が。近況でも浜松ではなかなかエンジンを合わせ切れない流れが続いており、今回に向け何か秘策は？ 調整が合えば試走タイムも出て、エンジンベースは悪くないことは明らかだが…。

昨年来、不振の長かった**西原智昭**がようやく



鈴木圭一郎
(浜松 32期)



伊藤信夫
(浜松 24期)



金子大輔
(浜松 29期)



中村雅人
(川口 28期)



佐藤摩弥
(川口 31期)



永井大介
(川口 25期)



青山周平
(伊勢崎 31期)

復調ムード。エンジンに関してははまだ日替わりの感拭えないものの、スタートの切れに関してははかばか戻っている、と本人のコメントにも。一気の飛び出しから展開作っていくシーンはありそう。

A級の好調車としては、**三浦康平**、**田村治郎**の名が挙がるが、いずれも試走タイムに比べてレース足の弱さが目立ち、エンジンパワー上昇を目指す整備の結果次第となる。

【飯塚勢】

昨年来の事故点の多さゆえ、近況は主に外マクリ主体のレースが多い**荒尾聡**だが、その勝負強さと、結果として残っている勝率はさすがと言うべき。エンジン自体は昨年末のスーパースタートリアルでのパーツ交換以降安定しており、時折出るドドドと、いまだムラ気配あるスタートを好調レベルで安定させたいところ。

それでも勝ち上がり段階では車券からは外せない存在だ。

浦田信輔のこの冬は試走タイムが出てレース足が一息の状態が続いた。しかし直近の地元戦で準優勝。ようやくエンジンパワー上昇傾向が見え、得意走路とする浜松で更に上積みといきたいところだ。浜松正月開催を3.321の超絶上がりタイムで制した**瀧下隼平**は、直近地元ミッドナイトも3.328で優勝。トップ2に時計で対抗できる筆頭格といえ、今回もスタート展開次第では常に車券圏内狙える存在に。

A級では、**越智尚寿**、**中尾貴志**らがスタート・エンジンともに好調で、先行から残り目に期待。

【山陽勢】

近況上位戦での活躍にやや乏しい印象の**山陽勢**だが、**佐々木啓**、**松尾啓史**のトップ2はいずれも車状態良く、浜松相性も抜群。松尾は以前の

浜松では悩み多かった足回りのトラブルも近況はほぼ解消。今では浜松が一番乗りやすい、とのコメントまで。佐々木は前回の浜松では気になるレベルのドドドが出ており、まずは足回りをしっかりさせたいところか。

近況伸び盛りの**丸山智史**も、浜松ではドドドが出やすく注意。エンジンは行き足・乗り味ともに良く、連日タイヤ探し中心の流れとなりそう。直近浜松開催で落車あった**岡部聡**は最終日を見る限り心配はなさそうで、初日の鋭い追い足再現となれば逃げる選手にとっては脅威。丸山同様、只今伸び盛りのオーラ漂う**長田恭徳**も、晴雨共にいつでも一発決められる状態だ。

A級では、**藤岡一樹**に注目。昨年末以降の大活躍は周知の通りだが、飯塚G1では反妨などもあり、ややリズムを崩した感。それでもエンジンベースは悪くなく、常々「5場で一番合わせやすい」とする浜松で、人車とも立て直してくる公算は高そう。



高橋貢
(伊勢崎 22期)



早川清太郎
(伊勢崎 29期)



荒尾聡
(飯塚 27期)



浦田信輔
(飯塚 23期)



瀧下隼平
(飯塚 28期)



佐々木啓
(山陽 23期)



松尾啓史
(山陽 26期)